

かつて東洋一と謳われた

# 陸軍 大刀洗飛行場

（筑前町立大刀洗平和記念館所蔵品展）

2019年4月23日[火]～6月30日[日]

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

休館日：毎週月曜日

祝日または振替休日の場合はその翌日（GW中は休まず開館します）

開館時間：9:30～17:30（入館は17:00まで）

入館料：無料

主催：平和祈念展示資料館、筑前町（福岡県）



平和祈念展示資料館（総務省委託）

新宿住友ビル33階 東京都新宿区西新宿 2-6-1 Tel：03-5323-8709 <http://www.heiwakinen.jp>

# かつて東洋一と謳われた 陸軍大刀洗飛行場

～筑前町立大刀洗平和記念館所蔵品展～

平和祈念展示資料館では、第二次世界大戦における、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、国民の理解を深めるための活動の一つとして、他館と連携した交流展を行っています。この度は、福岡県筑前町立大刀洗平和記念館との交流展を実施します。

かつて筑前町には、旧陸軍が東洋一を誇った大刀洗飛行場を中心とする一大軍都が存在しました。しかし、昭和20(1945)年3月、米軍の大空襲により、壊滅的な被害を受け、民間人を含む多くの尊い命が奪われました。

また、大刀洗飛行場は、特攻隊の中継基地として数多くの若き特攻隊員たちの出撃を見送った場所でもあります。

現在、戦争の記憶は失われつつあります。本交流展が、かつての大刀洗飛行場の姿を伝えるとともに、今日の平和に感謝する機会となるよう願います。



## イベント情報 (参加無料・予約不要)

**ビデオ上映** 他のイベント時を除く毎日14:00～  
「大空の彼方へ～かつて東洋一と謳われた大刀洗飛行場～」より  
製作/筑前町立大刀洗平和記念館

**映画上映** 各日とも11:00～/14:00～の2回  
戦場に散った若い命を描いた作品を上映します。

5月11日(土)「人間の翼 最後のキャッチボール」  
製作総指揮/末次一郎 古川貞二郎 監督/岡本明久  
出演/東根作寿英 山口真有美 1996年公開 135分

5月25日(土)「きけ、わだつみの声」  
監督/出目昌伸 出演/織田裕二 的場浩司 1995年公開 130分

6月8日(土)「紙屋悦子の青春」  
監督/黒木和雄 出演/原田知世 永瀬正敏 2006年公開 111分

6月22日(土)「俺は、君のためにこそ死ににいく」  
製作総指揮・脚本/石原慎太郎 監督/新城卓 出演/徳重聡 窪塚洋介  
2007年公開 135分

**定期語り部お話し会** 各日とも14:00～

5月19日(日) 西崎信夫さん  
15歳で海軍特別年少兵に志願。駆逐艦雪風の乗組員として、戦艦大和の沈没を目撃し、自らも負傷しながら生存者の救出に当たった体験を語ります。

6月16日(日) 上野辰熊さん  
16歳で陸軍少年飛行兵として訓練を受け、鹿児島県の万世飛行場で沖縄航空作戦に加わり、出撃を待つ間に沖縄戦が終結、大刀洗北飛行場で終戦を迎えた元兵士の体験談です。

※都合により出演者が変更になる場合がございます。

5月18日(土)は「国際博物館の日」この日に来館された方には記念品を差し上げます。



## ゴールデンウィーク GW特別イベント

4月27日(土)～5月6日(月・振休)  
「次の世代に伝えたい、戦争体験者のおはなし。」  
を開催します。

- 都営大江戸線(都庁前)駅より徒歩約3分
- 東京メトロ丸ノ内線(西新宿)駅より徒歩約7分
- JR線、小田急線、京王線(新宿)駅西口より徒歩約10分

